



市民の願いにこころ寄せ議員活動に全力

日本共産党 京都市議員

西村 よしみ

2019年 1月6日(日)

議員活動報告 NO. 304号

○西村事務所 右京区梅津高畝町 39

Tel, FAX 872-9653

○自宅 右京区梅津東構口町 17-405

Tel, FAX 864-2009

国も京都市も「税金使い方」改め暮らし応援

京都市の財政状況は厳しい事態に陥っています。例えば、将来の借金返済に備えて積立している「基金」を取り崩した財源確保など、やっ

てはならない「特別な財源対策」です。また、京都市に対する国の様々な財政支援も高まらず財源確保が厳しい事態です。

それならば市は、「不用不急な事業」、大型公共事業を見直すべきです。ところが、市がやったのは社会福祉予算抑制、市有財産処分、職員削減などです。



市会代表質問の西村市議

今年こそ「新しい政治」へ

負担が大 きい北陸 新幹線、リ ニア新幹 線の誘致 は止すべ きと提案。

その上で、市民が必要な待機児童対策や高い国民健康保険料引き下げ、災害対策など提案。この案は日本共産党 党議員団だけです。

市民要求 予算に生かせ!



日、新年度予算の編成に生かすため、「予算要望書」提出しました。内容は363項目に及びます。特に、災害が多く発生した元で、復旧対策と共に防災の強化を求めています。また、観光誘致で悪影響が懸念される民泊対策、市バス対策など求めました。

高すぎる国保料の引き下げを

右写真は12月、「議員励ます集い」で市政報告する西村議員です。右京各地で「市政報告懇談会」に参加し、皆さんから要望を聞き、実現に取り組んでいます。

2019年度予算要望書を提出しました

党市議団は12月13

京都市の国民健康保険事業特別会計が37億円の赤字になることが分りました。市は黒字を基金に積み立てることを提案しました。党議員団は「基金への積み立ては前例がなく、加入者の負担軽減のため、保険料の引き下げ



市役所前集會に参加。左側が西村市議

自衛隊へ個人情報提供やめよ

京都市が、自衛隊の募集に協力するため、住民基本台帳データに基づき、一八、二二歳になる市民の情報を宛名シールで、二〇一九年度から自衛隊京都地方協力隊に提供する方針です。これを知った市民はビックリ。抗議の声が市に寄せられています。

京都市が今回単なる閲覧だけにとどめてきた方針を、「宛名シール」で自

に回せ」と求めました。加入者の負担は限界を超えています。

市バス民間委託化が「破たん」

市バスの運行をする民間バス会社が運転手不足で一部撤退します。党議員団は、「運転手の労働条件悪化を招く」との理由で民間委託に反対してきました。



予算要望を提出する共産党市議団

自衛官は「国を守るため」災害支援など役割を担っていますが、安倍政権になってから、海外派遣で大変危険な任務にあたっています。こういう危険な動きに協力する京都市の姿勢は「京都市非核平和都市宣言」にも反します。

二〇一九年「挨拶

愛読の日本農業新聞の「四季」と言うコラムに面白い記事を見つけました。昨年二月の記事ですが、「日本に影響を与えた生誕二〇〇年となる三人の巨人に思う」と題する一文です。その巨人の一人が、「資本論」を書いたカール・マルクスです。

「グローバル経済の弊害が広がる中で、格差解消、分配重視の視点は再び輝きを増す」と資本主義を告発した著者に好意的。「万国の労働者団結せよ」に学べば「世界の農業者団結せよ」と農業を重視しています。今年も自然と人を大切に